

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	鹿児島県鹿児島市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	鹿児島市文化遺産活用計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「第五次鹿児島市総合計画」、「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「鹿児島市教育振興基本計画」などを踏まえ、次の事業を実施する。</p> <p>○かごしま近代化産業遺産協働行動計画推進事業 世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に含まれる本市構成資産（旧集成館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝）を中心とする鹿児島の近代化産業遺産の活用を通じ、地域活性化を図るため、「かごしま近代化産業遺産協働行動計画」に基づき、取組を実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>鹿児島市が本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会文化財課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等</li> <li>・観光交流局世界遺産推進室：「かごしま近代化産業遺産協働行動計画」の推進に関する調整等</li> </ul> <p>また、事業の実施については、以下の団体が実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議（会長：内村 文泰）</li> </ul> <p>※構成団体：町内会、市民団体、NPO、ガイド団体、大学生、所有者、行政など</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 2,090 千円	平成29年度申請額： 1,295 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>世界文化遺産の概要、価値等について総合的に情報発信することにより、世界文化遺産への市民の認知や理解向上が図られ、ひいては協働による遺産の適切な保存・活用、次世代への継承へとつなげることができる。</p> <p>また、遺産を核としたまちづくり、新たな観光魅力創出へつながり、地域振興、観光・産業振興に寄与することが期待できる。</p> <p>【効果の測定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等による活動状況の報道件数（5件）</li> <li>・宿泊観光客数（平成31年度 375万人）</li> </ul>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	・「集成館」おもてなし人材育成事業 ※自主財源		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	鹿児島市観光交流局世界遺産推進室		



**様式 1-1 別紙②**

**8 (2) 実施事業の概要 別紙**

<b>事業①：</b>	「集成館」情報発信コンテンツ作成事業	<b>実施団体：</b>	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議		
<b>事業区分：</b>	情報発信	<b>事業期間：</b>	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
<b>事業概要：</b>	「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の価値や資産ごとのつながり、本市構成資産（旧集成館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝）の魅力等を発信するとともに、誘客を積極的に推進し、地域経済の活性化を図るため、ポスター・リーフレットを新たに作成する。				
<b>評価指標区分：</b>	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）		（具体的な指標は次のとおり）		
<b>具体的な指標：</b>	・リーフレットの累計増刷数（自主事業分）				
<b>目標値：</b>	平成 28 年度 0 部		⇒		平成 31 年度 40,000 部
<b>進捗状況：</b>	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
部	部	部	部	部	部
<b>事業②：</b>	「集成館」次世代への継承事業	<b>実施団体：</b>	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議		
<b>事業区分：</b>	普及啓発	<b>事業期間：</b>	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
<b>事業概要：</b>	次世代を担う子どもたちに対し、将来にわたり遺産を継承していくためのきっかけとするため、遺産を紹介する児童用文具（下敷き）を作成・配布し、遺産価値の普及啓発・理解増進を図る。				
<b>評価指標区分：</b>	・その他		（具体的な指標は次のとおり）		
<b>具体的な指標：</b>	・児童用文具（下敷き）の累計配布人数（自主事業分）				
<b>目標値：</b>	平成 28 年度 0 人		⇒		平成 31 年度 10,000 人
<b>進捗状況：</b>	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	人	人	人	人	人